

平成29年度
菊池市議会報告会報告書



平成30年2月

菊池市議会

I 開催状況

より開かれた議会を目指すと同時に、議会の役割を果たすため、また、地域の課題や要望等を市民から直接聞いて、今後の議会活動に生かすため旧市町村4箇所で開催した。

最初に、議会運営委員会から議会のしくみについて報告を行い、次に本年6月及び9月議会定例会での各常任委員会の審査報告の後、質疑応答を行なった。次に熊本地震からの復旧・復興特別委員会、議会改革検討特別委員会から報告を行い、その後市民から質疑応答及び意見交換を行った。今回もプロジェクターを使用し、写真や図を写しながら説明を行った。

(1) 開催日時等

1 泗水会場

日 時：平成29年11月10日（金）

場 所：泗水公民館 大研修室

参加者：24名

2 七城会場

日 時：平成29年11月13日（月）

場 所：七城公民館 講堂

参加者：23名

3 菊池会場

日 時：平成29年11月17日（金）

場 所：菊池市文化会館 小ホール

参加者：27名

4 旭志会場

日 時：平成29年11月21日（火）

場 所：旭志公民館 大研修室

参加者：29名

※全体参加者 103名（内アンケート提出者83名）

(2) 次 第

1 開 会

2 あいさつ 森 清孝 議長

3 報 告

議会運営委員会 城 典臣 委員長

総務文教常任委員会 水上 隆光 委員長

福祉厚生常任委員会 柘原 賢一 委員長

経済建設常任委員会 岡崎 俊裕 委員長

(質疑応答)

熊本地震からの復旧・復興特別委員会

山瀬 義也 委員長

議会改革検討特別委員会 工藤圭一郎 委員長

(質疑応答)

4 その他の意見交換

5 閉 会 大賀 慶一 副議長

(3) 当日の役割分担

1 1月10日 司 会 猿渡美智子 議員

(泗水) 記録係 泉田栄一郎 議員

パソコン係 平 直樹 議員

写真係 後藤 英夫 議員

1 1月13日 司 会 坂本 道博 議員

(七城) 記録係 出口 一生 議員

パソコン係 平 直樹 議員

写真係 後藤 英夫 議員

1 1月17日 司 会 木下 雄二 議員

(菊池) 記録係 坂本 道博 議員

パソコン係 平 直樹 議員

写真係 樋口 正博 議員

1 1月21日 司 会 水上 彰澄 議員

(旭志) 記録係 出口 一生 議員

パソコン係 平 直樹 議員

写真係 後藤 英夫 議員

※会場設営、受付、会場係、後片付け . . . 全議員

Ⅱ 質疑応答及び意見交換

当日会場から出されたご質問、ご意見、ご要望を掲載します。
掲載については、出された項目を所管する常任委員会ごとに掲載しています。
報告会当日に回答した案件については掲載していません。
なお、市に対するご意見、ご要望については執行部の回答を掲載しています。

【総務文教常任委員会関係】

① 市民広場・物産館・夢美術館の改修内容は？ 模型の展示はいつか？

(回答)

市民広場の主な改修内容は次のとおりである。

①駐車場の整備拡張、②騎馬像周辺及び芝生広場の新たな芝張り、③物産館・夢美術館と新設する大屋根広場をつなぐ回廊を設置し、回廊部分については日よけを兼ねた天蓋の整備、④全天候型の大屋根広場を新設（来場者の食事・休憩スペース、雨天時には小規模なイベント開催も可能）、⑤幼児低学年向けの複合遊具の設置

物産館は ①出荷者のためのバックヤード棟の新設、②トイレの改修、
夢美術館は ①観光情報コーナーの新設、②会議室展示品収納庫を整備

模型の展示は生涯学習センターにおいて11月27日より図書館の入り口の左側に常設展示中である。

② 市役所や消防本部からの防災無線の放送が（葉山住宅は）わかりづらい。災害のときなど、どこに逃げたらいいのかわからない。

(回答)

防災行政無線の維持・管理委託業者に、申出があった現地付近で、音の聞こえる状況を調査してもらった。屋外においては、通常に聞こえる状況であったが、放送内容が分かりづらいときは、市役所へ尋ねていただきたい。

③ 議会だよりと本日（議会報告会）の資料の金額が違うのはなぜか？（総務文教委員会の市民広場再整備事業と教育災害復旧費）

(回答)

議会だより（第51号）には市民広場再整備事業の報酬・委託料・工事請負費を含めた額（1億3,111万9,000円）を掲載しており、報告会の資料には工事請負費（1億2,135万1,000円）のみを記載し

ている。また、教育災害復旧費については、議会だよりでは委託料と工事請負費の合計額を記載し、議会報告会ではそれぞれの額で記載している。

④ 道路を走っていて、小学生の登下校が危険である。通学路に交通指導員が不足していると感じているので増員してほしい。

(回答)

本市では、小・中学校の通学路において、安全確保に向けた取り組みを行うため、教育委員会、小・中学校、道路管理者、警察等の関係機関と連携して「菊池市通学路防犯・交通安全プログラム」を策定している。これに基づき、小・中学校の先生が家庭訪問期間等に危険箇所の調査を行い、関係機関で危険箇所の立会いを実施し、様々な状況に応じた必要な対策を協議している。交通指導員が不足するようになっておられるならば、一度、該当する学校に連絡していただければ、学校側で再度調査し、対応を行う。

⑤ 旭志幼稚園跡地の活用について

地域の意見（地域のコミュニティ作り）と跡地検討委員会の意見（学童保育）がかみ合わず、不信感と、もどかしさがある。

何年も幼稚園跡地は閉じたまま。若い人は旭志は何もないから出て行く。高齢者は孫を連れて立派な生涯学習センターができては連れて行けない。同じ菊池の振興を図るならば、新設でなくていいので旭志幼稚園を活用してほしい。

(回答)

これまで、旭志幼稚園跡地の利活用については、様々な協議を行ってきた。その結果、子育て支援施設（A案）と、図書館（B案）という2つの案を中間報告したところ、地元の意見としては、その大半がB案の「図書館」であった。その後、H29年度に引き続き市内プロジェクト委員会の会議の中で、「図書館」については、旭志支所の改修計画で公民館機能と併設して設置する方が利便性が高くなるものと決定されたため、その状況を再び地元の検討委員会へ報告を行なった。過半数の方々の意見は了解されたものの、実際に支所の計画（案）を見た上で了解するという意見であった。

そうしたことから旭志幼稚園跡地については、地元の意見を尊重しながら、子育て支援施設として、利用の方法や運営のあり方等の協議を進めていきたいと考えている。

⑥ 菊池市図書館友の会でチラシを作り、熊日に折込チラシを入れている。市の広報に折り込みさせてもらえないか？

(回答)

菊池市図書館友の会のチラシを拝見し、内容を確認させていただいたが、図書館友の会の会報であり会員募集の記載があった。区長文書を担当する総務課としては菊池市図書館友の会は公的な機関ではなく任意団体であり、広報と一緒に配布すると市が配布したものと誤解されるおそれがあるため、このチラシを区長文書と一緒に配布することは難しいと判断している。図書館としては、4つの図書館があるのでそちらのほうでパンフレットとして配ることはできるので、利用者の方にご紹介だけさせていただきたいと考えている。

⑦ 旭志中学校の体育館の北側にも地震で20センチ、深さ1mほどのずれが生じているの。それも今回の武道場の修理工事に入っているのか？

(回答)

本年度、旭志中学校の武道場改修工事を行う。その中で、ご指摘のあったずれについては、この度の請負業者と協議し、適切な補修工事を行うこととしている。

⑧ 菊池市営のゲートボール場の維持管理を現在高齢者で行なっているが、難しくなってきたのでなんとかしてもらえないか？

(回答)

市営ゲートボール場の維持管理については、市から市ゲートボール協会に委託管理費を支払いながら、維持管理をして頂いている。しかし、市の維持管理になると管理費を支払えなくなるので、市ゲートボール協会の方と協議を行っていく。

【福祉厚生常任委員会関係】

① 中高年の健康管理はどのようにしているのか。

(回答)

中高年の健康管理は健診受診率を上げることを入口として、養生園を活用して健康診断や推進を行っているが、中々進んでいないのが現状である。女性は乳がんの死亡率が高いので定期検診をお願いしたい。マンモグラフィの活用は市民の方からもご協力いただきたい。

健診の実施体制では、複合健診として特定健診、後期高齢者健診と、各種がん検診が同日にできる体制や、特定健診、後期高齢者健診は医療機関で個別にできるなど、受けやすい健診体制を整備している。

受診率の向上については、個別通知や、広報、ホームページへの掲載、また

出前講座でも受診勧奨を実施している。未受診者に対しては、個別訪問や通知送付による受診勧奨を実施している。

また、特定健診結果データを基に、特定保健指導などが必要な方へ、それぞれの体の状態に応じた生活習慣病の予防について、治療が必要な方には受診勧奨や治療継続のための支援など、保健指導、栄養指導を中心とした生活習慣病予防、重症化予防の取り組みを実施している。

乳がん対策については、平成 30 年度より個別検診を実施する予定である。

- ② 税金の徴収率の向上について、執行部の具体的活動を教えてほしい。また、それぞれに対応して徴収を延伸するとしても、例えば、事業をするためにお金が必要で税金が払えない方へは、事業をするための支援をしたほうが良いのではないか。

(回答)

滞納者への対応については、納期限内に納付がなく、督促状を発送しても指定した期限までに納付がない場合、更に催告書を送付している。納付の催告をして、納税の相談があれば、生活の状況や納付計画を伺い、生活の状況に合った納付計画を作成している。

仕事が無かったり、収入が少なくして現在の状況では支払えない場合は、福祉課の生活困窮者支援窓口等へつないで就職相談、家計相談等を行いながら、まず生活を安定させることから納税へと導いている。

また、事業をするためにお金が必要な方等については、利子補給制度や助成制度等を紹介しながら、分納等により納税をお願いしている状況である。

滞納者を増やさないための方策として、現年度収納に力を入れており、繰り越し額を増やさないようにしている。どうしても催告に応じない場合には差し押さえの執行により、滞納の縮減を図っている。

- ③ 議会報告会資料に、新たな認知症対策に取り組むべきと書いてあるが、今までと変わった新しい取り組みを何か考えているのか。また、議会でこうした意見が出ているのだから、執行部ではそういった検討をしているのか。

(回答)

議会としての具体的な対応というのはないが、認知症は早期発見・早期治療が重要であるため、予防のために病院へ行くといった、早目の対応を市民にお願いしたい。

市の取り組みとしては、毎月 1 回、もの忘れ相談会（要予約）が開催されている。新たな取り組みとしては、スマートフォンのアプリを活用して、認知症行方不明者の検索を行う「認知症オレンジセーフティネットワークシステム」

の試験運用を実施している。今後、全国キャラバンメイト連絡協議会のモデル事業に取り組み、継続していく予定である。認知症サポーターや地域で認知症の方を見守る「大きなオレンジリングまちいっぱい活動」協力店等にこのアプリの活用を促し、広めていく予定である。また、今後は認知症対策の施設整備も必要と考えている。

- ④ 健康な人をいかにして認知症になりにくくするか、また、認知症になった人がいかにして進まないようにするのかについて目を向けるべきだと思うがどうか。認知症を進みにくくするために、地域の人が集まって話せる場所を確保する考えはないのか。

(回答)

初期の認知症の方に対しては、同じくらいの年齢の方たちと一緒に、予防のために病院に行くなどの予防対策が一番大事である。早く行って薬を飲めば、症状がそれ以上進まないで、周りの方が気をつけていただくのがベターな方法だと思う。

生活習慣病の予防及び人との交流が重要である。交流の場として、従来からの地域サロンの運営支援に加え、今年度から、週に1回以上体操などを公民館などで行う住民運営の通いの場創設支援を実施している。

- ⑤ 介護関係で、入居者は何百人待ちなのに部屋は空いている。理由を詳しく聞くと、介護する人が足りないそうだった。議会は介護施設の現状を見て回っているのか。今後、高齢化が進む中で、国・県にそういった要望をしているのか。

(回答)

平成29年10月分の介護関係施設の利用者状況調査を行っており、この中で、職員採用、退職、募集人数の調査を実施している。

慢性的な介護人員不足については、国も承知しており、介護報酬の0.5%アップがマスコミで報道されているが、こういった処遇改善(給与改善)が国の対策であると考え。県については、介護人材育成事業として、市の社協がそれを受け、人材の育成を行っている。

待機者については、一人で数箇所の申請があるため、重複している可能性がある。また、病院に入院中の方もおられ、実際にはもっと少なくなると思われる。介護が必要な方に適正な介護サービスを受けてもらうことが、この制度の基本であるため、何らかの形で国・県へお願いを続けていきたいと考えている。

- ⑥ これまでは他の病院の紹介状がないと医師会で受診できなかったが、医師会病院のマンモグラフィに補助金が出ているということは、これからは一般の人がいつでも行けて乳房のX線検査を受けられるということか？農協の養生園での検診車以外は熊本市まで出て行かなければならないので、よろしくお願ひしたい。

(回答)

医師会立病院は「紹介型の病院」のため、救急の場合を除き、「かかりつけ医」の「紹介状」を原則必要とする。

マンモグラフィ導入に伴い、乳がんの個別検診を平成30年度より実施する予定としており、実施期間・方法について現在協議中である。

市が対象年齢を定め、無料クーポン券を発行して、皆さんが行きやすくなるような制度を検討しているため、それが決定したら、皆さんにお知らせしたい。

- ⑦ 夢美術館が会館した当初から、車椅子が設置していない。隈府一番館の車椅子はパンクしたまま5~6年放置したままだった。夢美術館に車椅子が置いていないという状況を知っていたか？

(回答)

夢美術館の車椅子については、これまで物産館と共用で設置されていたため、この時には物産館で全て車椅子が使用されていて、夢美術館になかったと思われる。現在は夢美術館専用として一台設置しており、わいふ一番館の車椅子については、その時はパンクしていたということだが、現在は新しい車椅子を設置している。

- ⑧ 少子化対策には力を入れているが、健康な高齢者に対する対策は何か考えているのか？

(回答)

お元気な高齢者を活用する事業として、①老人クラブシルバーヘルパーによるシルバー友愛見守り訪問事業、②有償ボランティアによるゴミ出しなどの簡易な生活支援を行う生活支援サポートセンター事業などがある。これは、社会貢献やいきがづくり、介護予防につながるものである。

また、できるだけ元気な高齢者を増やすために、週1回以上体操などを行う、住民運営の通いの場創出支援を行っている。

【経済建設常任委員会関係】

- ① 龍龍（ロンロン）館は閉館後 5,000 万円程度かけてリニューアルしたが、客が少ないようである。軌道に乗って利益を上げているのか。また、週に 4 日しか開いていない。

(回答)

リニューアル後の龍龍館運営については、指定管理についても検討したが、レストラン等の経営状況や継続性について十分見極める必要があったため、当面はテナントによる運営とし、平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの 3 ヶ年を期間とするテナント契約を市と（株）祐和會で締結し、将来的には指定管理の可否について検討していくこととした。

経営状況については、季節や曜日によって変動する幅が大きく 7 月・8 月・9 月が来館者・売上げともに多く、1 月・2 月がともに少なく経営状況としては厳しいと伺っている。

龍龍館を含め、竜門ダム建設時に整備された資源の活用と、新たな視点での観光客集客及び地域活性化などを総合的に検討しながら、龍龍館の来館者増、開館日数増につなげていく考えである。

- ② 県道旭志鹿本線の新古閑から清水のほうに曲がっていくところから狭くなっている。新古閑から長田を通して国道 387 号に抜ける道路の計画はどうなっているのか。七城地域の人はこの道路に期待しているので計画をお願いしたい。

(回答)

新古閑長田線については、平成 23 年に関係区長（大塚区・下長田区・上長田区）に事業説明を行い、地元集会にて意見を取りまとめたいただいた経緯があるが、結果として、関係集落全てにおいて、事業に対する反対の意見が多く、区として事業に同意できないとの回答を得ている。

その後、一部の集落において、再度検討の依頼を行ったが、集会で決まったことを再度持ち出すのは、抵抗があるとのことで、事業が中断した。

七城地区からの要望で、合併特例債事業で計画されたものであったが、事業化は、当時、困難といった判断で別の事業へ変えられている。

また、県道旭志鹿本線との兼ね合いもあるので、菊池市から熊本県へ単県要望として県道旭志鹿本線バイパス的な位置づけで改善要望を行っているが、新規事業になるため、早期着工は困難とのことである。

- ③ 大代堰（神来地区）の用水路について、担い手育成事業により農林整備課で
されているが、工事後、必要用水量が本当に流れているのか調査してほしい。

(回答)

大代堰関係の用水路改修については、県営事業（菊池 3・A 地区農業水利施設保全合理化事業）及び団体営事業（菊池市土地改良区）において事業を実施している。完了後に県及び菊池市土地改良区に対し調査を要望する。ただし、渇水期においては必要な用水の確保ができない場合もある。

- ④ 菊池渓谷について、熊日新聞によると 11 月再開と報道があったが、後日変更
があり平成 30 年 4 月からとなった。その理由は何か。

熊日での報道については、いつから入谷を許可するのかについて、環境省や林野庁なども入って検討し、決定した上での公表ではないかと思うが、その報道の経緯は？

(回答)

菊池渓谷の入谷については、歩道の整備が必要なため平成 30 年春としている。細かな砂利の除去などは“菊池渓谷を美しくする保護管理協議会”で整備中である。また、右岸側の遊歩道については、熊本森林管理署により整備工事を発注している。転落防止柵等をはじめ階段等の設置を実施し、工期は平成 30 年 3 月 10 日までである。

左岸側の九州自然歩道については、熊本県により工事を行い、工期は平成 30 年 3 月 31 日までとなっている。

入谷解除の時期についての報道は、“菊池渓谷を美しくする保護管理協議会”の臨時総会后（10 月 6 日）にあった、平成 30 年春と言うことだけである。臨時総会后に会長である市長及び商工観光課への取材により報道されている。例年の山開きが 4 月であるため、この時期に解除との報道はあっている。

念のため、熊日新聞にも確認したが、11 月再開の報道はしていないとの回答であった。

- ⑤ 学校周辺等の道路（泗水地域）のラインが消えているところは早急に引い
てほしい。

国道 387 号の合志川に架かる橋の架け替えにおいて、仮設の歩道が中途半端であるが計画はどうなっているのか。

(回答)

市道には、消えたもしくは消えかけた区画線は、多く存在している。交通事故防止に重要な役割を担っていることから、消えた区画線の引き直しを計画的に実施しているところであるが、ラインの引き直しが追いつかない状況である。

通学路交通安全プログラムにより、平成 30 年度予算において泗水西小周りで 300m の 2 ヶ所程と泗水小周りで 1,000m 程のライン引きの計画を考えている。

なお、停止線や横断歩道等の規制をかけるラインは、熊本県公安委員会の所轄となる。

合志川橋の仮設の歩道橋については、現在は、九電と N T T のケーブルの付け替えを先行して施工している。その後、上水道と下水道の付け替えを行い、平成 30 年度には通行可能な歩道とし、合志川橋の解体を行い、平成 34 年度に新しい橋が完成の予定である。(工事期間が平成 30 年～34 年)

- ⑥ 10 年ほど前にこのような話し合いの場で言ったが、国道の北原のガソリンスタンドの前で深川からの歩道が切れていて、ブロックがあるため、そこから先には行けない。車椅子や松葉杖、足の不自由な方には不便である。国道とお店の関係があり、すぐにはできないということだった。危険箇所は確認して善処してもらいたい。

(回答)

国道 387 号北原交差点については、熊本県の話では改良計画は無いとのことである。単県要望として改善要望は行っているが、新規事業になるため早期着工は困難とのことであった。

- ⑦ 桜のテングス病対策において、既に大津から四季の里までの 500 本は終わっている。四季の里から全農の手前までの 300 数十本のテングス病処理の計画はあるのか？

(回答)

テングス病の処理については、これまで桜の総数 772 本のうち、491 本の剪定を実施し、未処理が 281 本となっている。平成 30 年度予算で未処理分の剪定委託を行う予定である。

【議会改革特別委員会関係】

- ① 費用弁償について 今年の 3 月の中間報告で全員一致で一旦廃止になったが何回会議をしたのか？

(回答)

特別委員会では計 7 回審査を行なった。

平成29年度 菊池市議会報告会アンケート結果									
【全体集計】			参加者 103 名			アンケート提出者 83 名			(回収率) 81%
【年齢】			【居住地】			【開催情報入手方法】			人数 (割合)
10代～20代	0	0%	菊池	21	25%	広報きくち	27	23%	
30代	2	2%	七城	16	19%	議会だより	21	18%	
40代	6	7%	旭志	19	23%	市ホームページ	5	4%	
50代	18	22%	泗水	23	28%	区長文書	11	10%	
60代	35	42%	菊池市以外	4	5%	防災無線	30	26%	
70代以上	19	23%				回覧	12	10%	
記載なし	3	4%				知人から	6	5%	
計	83	100%	計	83	100%	議員から	1	1%	
						その他	3	3%	
						計	116	100%	
						※複数回答あり			
【説明内容】			【説明時間】			【報告会評価】			人数 (割合)
わかりやすかった	39	47%	短かすぎた	6	7%	良かった	38	46%	
わかりにくかった	7	8%	長すぎた	14	17%	良くなかった	4	5%	
どちらともいえない	32	39%	ちょうどよかった	56	68%	どちらともいえない	37	44%	
無回答	5	6%	無回答	7	8%	無回答	4	5%	
計	83	100%	計	83	100%	計	83	100%	
【開催範囲】			【今後の議会報告会の内容についてどのような方法が望ましいですか】※複数回答			人数 (割合)			
全市で1ヶ所	7	8%	これまでどおり議会からの報告の後、市民からの意見や要望を聞く			55	64%		
旧市町村単位	71	86%	少人数による意見交換会			13	15%		
小学校単位	3	4%	そのほかの方法			5	6%		
無回答	2	2%	無回答			13	15%		
計	83	100%	計			86	100%		

【意見・感想等】

アンケートの中から市議会へのご意見・ご感想を掲載します。(抜粋)

- ◆ 具体的数値についても資料を付けてほしい
- ◆ 市民広場、生涯学習センターについては、図面等を P P (パワーポイント) で
- ◆ 辞職勧告等、健全な議会育成に 市民に見える努力をしてほしい (うやむやになっている)
- ◆ 開催単位は七城地区を 3 班で実施
- ◆ 議会からの報告必要なし。意見要望を主体に。
- ◆ 一般質問の質を高めてほしい。質問か要望かお尋ねか判らない。もう少し勉強して質問せよ。
- ◆ 毎回同じ様なアンケートを毎年内輪で査定しているのか
- ◆ 議会報告は広報とダブっている。省略して欲しい 毎回同じ 必要なし
- ◆ 定例会の主な審議事項の説明の中で数字的な説明があったが、そのような主な説明は報告に追記して欲しい。
- ◆ 市民からの質問が議会に対してのものではなく、個人的なものであったが、議員の判る範囲で答えられていて、良かった。
- ◆ (今後の議会報告会の周知方法について) 回覧板を利用し、絵を多用し、簡単な言葉で議会報告を見るように促す。
- ◆ 開かれた議会を！費用弁償の廃止に反対された議員・賛成された議員を議会だよりに載せるべきだと思う
- ◆ 報告会で記述されている内容をただ読むだけであれば説明は不要！！

- ◆審議の内容だけでは具体性に欠けるので追加説明が必要ではないか？
- ◆「～と聞いている」という執行部の回答には疑問を感じる 確認して断定すべきではないか → ～である ～でない
- ◆議会改革検討特別委員会の説明（工藤議員）は、記述にない背景等の説明が加えられ、分かりやすかった。
- ◆特別委員会の検討内容と経過が説明不十分である。目的の成果が理解不十分であり、無意味となった！
- ◆たいへんでしょうが、報告会の回数を増やしてほしい。
- ◆回を重ねるごとに建設的な意見が出るようになり、また気楽に質問できるようになり、とてもよい会になっております。
- ◆今回は手を挙げての質問によりさらに進んでマイクを回して一人一問とか、全員から意見を聞けるようになるともっとよいものになると思います。
- ◆市民との語り合いがもっと欲しい
- ◆議会報告会は事前にホームページ等で公開していただきたい。その内容を見て参加する人は出欠を判断し、事前に質問を準備できたりすると思われる。
- ◆今回の報告会でも道路補修について案件放置が明らかになりました。案件については確実にフォロー、結果報告を頂きたいと思います。
- ◆これからもこういう報告会を開催して頂きたい。
- ◆高齢者の健康を保つ為、市が進めているアルキメデス運動をもう少し強く進めてほしい。健康で長生きをすすめる。
- ◆インバウンドでは、外国の現地へパンフレット等、外国の有名人の人を呼んで写真等に撮って菊池の良い所をチャットやSNS等に掲載して宣伝をしたらどうか 早くしないと他県等はかなり力を入れているようです。

- ◆委員会の報告書は、わかりやすく作成されていたと思います。
- ◆予算があって決算だが、そのもっとも前提に市民のくらしの実態、くらしの現実がある。
- ◆（議員の）なり手が無いとの心配もありましたが、現職の議員の皆さまは立候補の際は熱い思いで当選された方ばかりですので、市の発展のためには、より以上に頑張っていたいただきたいと思います。
- ◆出席者にマイクを回して！（一人3分以内厳守で）
- ◆議会の内容が判り、大変良かったです。ただ、議会報告会に加え、市民の意見を聞く会にしてほしいと思いました。
- ◆時間が足りないと思います。報告は大事ですが、住民の意見の時間をもっとほしい。
- ◆議員報酬が低すぎます。費用弁償も政務調査費も同様です。有権者にこびずに正々堂々と議論してください。
- ◆議員の定数を減らしてほしい。
- ◆議会の分野別懇談会の開催は説得力があると思います。
- ◆議会だよりに過去5年間の決算状況を掲載してください。
- ◆歳出抑制策として、医療費・介護費・ゴミ減量対策など考えられる。議会として具体的な対策を執行部へご提案ください。
- ◆観光対策費よりも市民生活、教育に予算の配分の努力をして下さい。
- ◆名泉100選を活かしていないと思います。温泉旅行及び宿泊施設の総合的対策を市側からご検討ください。
- ◆議会報告会で議会の仕組み、審査内容の説明は「議会だより」に掲載し、議会改革、要望事項、問題点を質疑、応答することが望ましいと思います。

- ◆ 県外の自治体は、市街地の4車線化整備をしてある。人口減対策として熊本市、高速道路、新幹線駅等、4車線で結ぶことが肝要と思います。関係自治体の執行部及び議会と期成会を立ち上げて対応すべきではないか
- ◆ 少子化の中で南中、北中の統合を議論してください。
- ◆ 観光地の最重点はトイレ（洋式、女性用を多く、清掃）です。市民広場のトイレをこの3点について議論してください。
- ◆ 議会改革として一般質問の夜間開催の試行を検討してください。
- ◆ 「議会だより」を読みやすくするために、行政用語に代えてわかりやすい表現にしたり、アニメを多用することをご検討ください。
- ◆ 費用弁償は廃止すべき。二重取りでは？
- ◆ 議員は全員前に出て座っていたほうが良いと思った。ただ後ろに座るよりは。
- ◆ （今後の議会報告会の方法として）各種団体との話し合い
- ◆ 一般の質疑時間を長くしたほうが良い。
- ◆ 旧菊池市と他旧町村の開発の差が大きくみえます。もう少し市街地外のこともしっかり見てほしい。
- ◆ 報告会は3月議会をお願いしたい。（政策予算案・年度当初予算があるから）
- ◆ 参加者が少ない。もっと参加し、議会に関心をもたれるような会にならないかなと思います。
- ◆ 市の中心部だけでなく、周辺の地域が元気になるような突っ込んだ審議をしてほしい。
- ◆ 多目的研修センター（現旭志公民館）にエレベーター又は車イスを。自動的に2階へ上げる設備を願います。

◆議員で年1つくらいは住民の意見を聞き、予算提案くらいしてほしい。委員会報告が長すぎる。

○来年度も開催する予定でありますので、議会に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

※市民の皆様のご協力ありがとうございました。



発行 菊池市議会

発行日 平成30年2月1日

電話 25-2325